

あつま

議会だより

9月定例会号

No. 121

平成17年10月発行

| | |
|---------------------------|------|
| 委員会活動レポート | 2～3 |
| 一般質問 有害鳥獣駆除など 7名が質問 | 4～10 |
| 研修してきました | 11 |
| 臨時議会 | 12 |



胆振東部5町中学校野球大会 (10月15日 本郷かしわ球場)

動レポト

総務文教常任委員会

委員会は去る7月19日、8月5日、事務調査、現地調査を行い、その結果を第3回定例会に報告した。事務調査5件、現地調査2件より抜粋。



ゆうきの里堆肥工場

ゆうきの里堆肥工場の環境問題

優良堆肥を生産し販路拡大したい

質疑概要

Q 悪臭問題について会社側はどのような対応をしているのか。
A 従業員による朝夕の通勤時に確認し悪臭が少しでも確認できたら報告

をするようにしている。また、水質検査の際に立会をしている。

Q 地元自治会では、優良堆肥を期待しているが、それが無理なら撤退してもらいたいとの声もあるが。

A 現会社になってからまだ1年である。その努力をこれからも続けてもらいたいと思っている。

Q 販売にあたって、この成分値で優良堆肥といえるのか。

A 販売認可が下りたばかりであり、今後さらに精力的に会社として動くと思う。成分値の窒素に多少の変動があるが、販売上は問題ないと思っている。

入札制度の改善

随意契約の廃止により落札率を下げたい

質疑概要

Q 指名競争入札で予定価格の事前公表を再度公告入札の場合のみとした理由は。

A 指名業者の登録というものは、2年に1回やっている。町内業者のランクは点数を基に建築・土木ではA、B、Cまである。あと電気がB、Cとランク付けされている。この点数は、北海道が審査して付けている。

A 厚真町は基本的に予定価格を公表しないでやっている。競争性を確保する意味では、入札回数を2回とし、町外業者を入れていく。

Q 町内の業者の中でAランク、Bランクというのは、どういう状況か。

委員会活

産業建設常任委員会

委員会は去る7月20日、事務調査、現地調査を行い、その結果を第3回定例会に報告した。事務調査1件、現地調査1件より抜粋。

苦小牧厚真通

質疑概要

Q この道路は厚真町にとつて重要と思う。景気のいい時代にできなかったのに現状ではなお難しいと思うがどうか。また、

苦小牧市は道道に昇格してというお願いをしているとのことだが、これらの見通しはどうか。

A 広域関係の重点開発の要望にのせ、1市6町も含めて、苦小牧市あるいは穂別町と協議をして、粘り強く交渉していきたい。

Q 現在の国道235号と並行して走るといふことや、湖沼群があること、また前苦小牧市長は無用論を出していた。これに対しての理論武装が必要と思うが。

A 苦小牧市としての優

先順位はかなり低い状態で、道も非常に財政が苦しい中であつて、状況は極めて厳しい状態であるが、苦東の進展状況を含めて、考えていきたい。

Q この道路で5分くらい短縮されると思うが、他にこの実現による効果は。

A 5 kmくらいの短縮であるが、農産物の搬出等に効果があると考えている。

Q 緊縮財政の中、今までのような体制でなく財政と並行して説明をするべきではないのか。

A 地方交付税はどんな動きになるか分からないが、住民にお知らせする中で社会資本整備に充てるお金もバランスをとりながら財政運営を進めていきたい。

苦小牧厚真通



町政を問う！！

一般質問

9月定例会の一般質問を要約してお知らせします。

詳しく知りたい方は、議会事務局、インターネット上または青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

有害鳥獣駆除

Q 市町村連携した対策が必要でないか

A 広域的連携を呼びかけていきたい



今村 議員



捕獲したアライグマ（苫小牧民報社提供）

アライグマ対策

問 近年のアライグマ被害、近隣市町含めてどのように把握されているか。

町長 胆振東部1市5町の平成12年から16年までの捕獲は合わせて647頭となっている。

また、北海道が森林整備公社に委託して実施した捕獲事業で、16年は191頭でうち町内25頭、17年は126頭、うち町

内50頭となっている。道の財政状況のこともあるが、農作物被害等で放置できないことであり、この事業の継続を強く訴えていく。

問 アライグマは道内広範囲になってきており、道の事業も当然ながら、各市町村が連携協力した対策が必要でないか。

町長 広域的連携でやっていくことを呼びかけていきたいと思っている。

一般質問

学校の危機管理・防災無線・環境問題



沢口 議員

富野小学校は、児童を体育館に集めて現状説明した後先生が引率して集団下校を行った。
中央小学校、厚真中学校については、一斉集団下校などの対応となった。

厚南中学校は、スクーターバスの後を先生が伴走、保護者と連絡が取れないところは、先生が自宅近くまで生徒を見届けた。

6月7日に上野地区で車の単独事故があり、運転手が行方不明という事件があったが、この事件に対して各学校では下校時の対応をどのように行ったのか。

学校の危機管理

A

学校ごとに対応した

Q

6月7日の事件に対する各学校の対応は

問 今日まで臨時会もあったが、この件に関して行政報告をするべきではなかったのか。

教育長 そう言われれば、そうだったかもしれない。

Q 防災無線の現状の運用の認識は

A 問題ないと思う

防災無線の運用

問 防災無線の運用について、現状の使用状況の認識をどのように思っているか。

町長 防災無線の運用については、内規がありそれに従って使用している。問題はないと思う。

Q 環境教育の義務付けを

A きちんとしていく

環境基本条例の取り組み

問 環境基本条例の運用について、公共事業の指名業者に環境教育の義務付けをしてはどうか。

町長 環境教育はしているが、これからもきちんとしていかなければならないと思う。

問 行政側も指導する立場から環境に対する積極的な姿勢をとるべきではないか。

町長 各自自治体の事例等を参考にしながら取り組んでいきたい。

厚幌ダム・パワーアップ事業



岡部 議員

Q 厚幌ダム完成が5年以上延びる可能性は

A ないと思う 明確になれば町民に明らかにする

厚幌ダムの完成時期

問 ダム本体工事着工19年度予定の実現性とダム完成時期について伺う。

町長 厚幌ダム完成時期がずれることは、容易に想像できる。18年度本体設計となっているが、何年に延びるといふことは、道からも話はない。

問 凍結・中止は、あり得ないが、町民に説明責任を果たすべきである。

町長 明確になれば町民に明らかにする。

問 ダム完成時期が5年以上延びる可能性はあるか。

町長 道議会の議論の中で明らかになると思うが、5年以上延びることは考えていない。

国営事業の完成時期とダム完成時期のずれ

問 国営農業用水再編対策事業の完成時期とダム完成時期のずれの問題点は。

町長 国営は、2期工事

が17年度に始まっている。国は、道とすり合わせしながら進めていると思う。常に要望している。

問 国営は、平成22年完成予定であるが、国営が完成しダムがまだできていない状況のとき、厚真ダムから国営への取水は可能なのか。

町長 国営導水路への取水はできない。

問 延期による国営の受益者負担への影響は。

町長 心配はない。
厚真川上流河川改修

により本流の洪水の危険性は、大幅に軽減される。洪水調節機能分の堤体の高さの設計変更による建設費の軽減の可能性と早期完成の方策は。

町長 道が考えることである。河川改修は、本体ダム建設変更につながらないと思う。

問 遺跡発掘調査予算減により当初計画のダム湛水試験に間に合わないが、ダム建設に影響はない。

町長 遺跡発掘で厚幌ダム建設に影響はない。



着々と進む国営事業（美里頭首工建設工事）

Q パワーアップ事業の今後の対策は

A 継続要請をしていく

パワーアップ事業の受益者負担

問 パワーアップ事業は、17年度で終了する。今後の町の対策は。

町長 この事業が終われば道の負担分を町は負担できない。名称が変わっても継続要請活動をしていく。

一般質問

パークゴルフ場



井上 議員

Q 交流人口を誘うパークゴルフ場の整備はこれで良いのか

A 利用者が楽しめ喜ばれるように整備の充実に努める



新町パークゴルフ場

パークゴルフ場施設整備の充実

問 パークゴルフ場は無料だから、芝が荒れていても、このままでいいと考えているのか。

利用者の中には無料でも荒れている状態では、楽しくないから遊びに来るのをやめると言っている人もいます。現に町外からの利用者は激減している。

土づくりから始まって

全面的に施設整備と改修が必要と思うが。

町長 厚真町は、「交流をさそう、緑とゆとりにあふれた大いなる田園の町」を基本テーマとして「土づくりを目指している。パークゴルフ場も芝の整備管理は大切であり、年々良くなると考えている。今のところ全面改修を考えていないが、担当課とも検討して良い芝づくりを進めていきたい。

問 パークゴルフ場の芝

管理は、一般的な草刈りとは違い芝管理に精通していなければできない作業である。整備職員に町づくりの基本方針である交流人口をさそう町としての施設であることの教育をしていたのか。

これらのことを踏まえて施設整備を進めていくことが基本である。仕事としての意識が薄いとと思われる。他の町の施設で研修をする必要があると思われるが。

町長 整備職員が厚真町の基本テーマを念頭に置き整備をすることは極めて大事なことであり、担当課の職員の指導も含めて研修をし、利用者が楽しく喜んでいただけるパークゴルフ場の改善に努めていく。

施設整備を民間委託にしては

問 民間委託による芝の管理を進めることにより再び厚真町のパークゴルフ場へ来なくなると思われる管理が必要である。世界は観光立国への政策転換が求められ、潮流として向かい始めている。

小さな町からの発信により町づくりの一翼を担うものと考えているが、民間委託によるパークゴルフ場の管理を提案する。

町長 民間委託によって効果が上がれば、それも一つの方向なのかなと思う。行政効果についても十分内部検討をして、パークゴルフ協会の意見も伺いながら総合的に考えていきたい。仕事の範囲も広大であると考えてはいないが、町の指導と職員の行動を含め問題が発生しないように努めたい。

エゾシカ対策・保育所

Q エゾシカ対策の国・道
事業の見通しは

A 19年度実施に期待している

エゾシカ対策

問 昨年北海道の地域政策総合補助金により高丘地区に金網フェンスが設置され絶大な効果が発揮されている。

この事業は、本町の年次計画による本格的なエゾシカ対策の初年度と考えているが、農業振興のため町域農地を網羅することが不可欠であり、今後国・道の事業を導入



効果が現れている金網フェンスの設置

することができないものか。

町長 道の補助事業がなくなつたので、国に頼るしかない。道では高丘地区の状況をもう一冬見て1メートル2,000円で大丈夫となれば、補助基準を見直し、国に要請すると言っている。町では19年度実現の可能性大と考えている。

問 施政方針の中で個体駆除を初めとして町単独事業の継続を述べているが、日増しに農作物被害が増加しており、国の事業が決定するまで待てない状況にある。町単独事業による低コスト金網フェンスの設置等について具体的な考えは。

町長 農業振興のため全



松平 議員

町的に金網フェンスを設置しなければならぬ。例外を認めざるを得ない場合もあるが、基本的には集落営農の中を考えている。

また、補完的に電気柵の更新も認める。補助率はこれまでどおり資材費の2分の1以内とする。

園児数はかなり減少となるが、今後の保育所の配置計画と閉園の基準は。
町長 今、配置計画は策定していないが、園児が減少したときは、地域と時間をかけて話し合い、理解を求めていく。

閉園の基準は決めているが、園児数が土曜日を除く1日平均で3年連続10人以下となると、道の特別保育所設置費補助金が受けられなくなるので、地域と協議をしていく。

問 本町の細長い地形を考えると将来最低でも中央と南北に各1箇所、計3箇所の保育所が必要と考えるが。

また、へき地保育所での3歳未満時の扱いはどうか。

町長 将来構想は新たな総合計画の中で考えたい。へき地保育所では今後も2歳児の入園は認めていく。

Q 保育所の配置をどう考えているのか

A 地域との話し合いを基本とする

保育所問題

問 近年出生率の低下により、本町も数年後には

一般質問

表町公営住宅・表町公園・防災

Q 表町公営住宅の高木植栽の必要性は

A 景観が良いなど専門的な考えで植栽した

表町公営住宅

問 北国の住宅としては、南側開口部前近くにコブシ、エンジュ等の高木を植栽することは、眺望や採光を妨げ、落ち葉等今後の管理を考えるともう少し検討する必要があると思うが。

町長 札幌市等の住宅を見ても大きい木がずらっと並んでいて景観が良い。そういう街づくりもあり職員も勉強していて専門的な考えを入れて植栽をした。落ち葉等は入居者の人に拾ってもらい、専門性の高いことは町の方でやり入居者と連携を取りながらやっていけば、その辺のご理解はいただけるのかなと考えている。



景観に配慮した植栽

問 表町の公営住宅の共用部分は、高層住宅でもあり、住民の方も初めての経験で、戸惑いもあると思うが、管理がスムーズに行われるような状況になっているか。

町長 専門性の高いものを除き入居者に管理をし



木村 議員

ていただいている。団地内の草刈りについては、年1回は町が行っている。皆さんは何でもかんでも家賃を払っているから町がやってくれると思っ

表町公園

問 大変すばらしいステージ付きの公園がつけられたが、昨年張り芝工法で芝生がつけられ、それが今年になってあちこち枯れた原因は何か。

町長 厚真川の河川改修の残土を入れたその上に工事当たって20センチの芝生の土を入れて暗渠も入れてあり、良しと

Q 様々な災害に対する避難場所の区分は

A 災害に応じて適切な指示をする

して工事をしたが、排水が悪くて一部が枯れた。5月に目土を入れ、種をまいて手入れをしたので、今は良くなってきた。

厚真町の防災

問 災害発生時に、適正な指示のもとに的確、迅速に行動できる災害対策本部の組織体制は整っているか。

町長 町長を本部長とし、副に助役、教育長を置き、総括部、調査広報部、工

作部、資材部、救護部、支援部の6部で活動できる体制を取っている。

問 町民がいざ避難という状態になったときの避難場所は、災害によっても変わってくると思うが、色分けはされているか。

総務課長 避難場所は、38箇所設置しているが、すべての災害に対して安全であると言えない。災害に応じて適切な避難所を指示していかねければならない。

問 立派な体制ができていてもその活動が適正な指示の下に、的確、迅速に実行できなければならぬ。人は頭では理解しても行動に移すのは難しいので、訓練が必要と思うが。

町長 平成9年に大規模訓練を実施した。訓練はしなければならぬと思っているが、厚真町は災害が起きるたびに対応している。それが町の防災訓練につながっていると

市町村合併・河川管理

Q 町村運営のあり方に関するグラウンドデザインは

A 当面は広域連携で進みたい

市町村合併

問 4月より5年間の期限をもって合併新法が施行され、北海道においては、北海道市町村合併推進審議会を設置し、来年3月にかけて合併構想の案をまとめていくとしている。

一方、北海道町村会は、これに先駆け、町村自らがどうあるべきかのグラウンドデザインを作るようであるが、町長は町村会の役員でもあり、今、町長の考えているグラウンドデザインとは。

町長 北海道は来年4月から5月ころ合併基本構想というものを公表する。北海道町村会としては、以前のように何の相談も

なく、いきなり93のパターンが公表されることのないように、14支庁それぞれで、あるいは広域連携のどれかについて、考えをまとめることとした。

胆振町村会としては、今、合併に向けてそれぞれが大変な状況にあるが、地方分権が進み、これを完全にこなすとなると、20万人(特例都市)以上の基礎的自治体を目指すことになるであろう、との考えであり、厚真町としても当面広域連携で進み将来的には合併は避けられないとの考えである。今後議会とも話し合っていくことになる。

Q 鯉沼川の排水が悪くなったのでは

A 胆振東部事業所に改善をお願いした



山田 議員

町が管理する河川

問 町が管理する河川の鯉沼川が厚真川の河川改修、軽舞川の改修により、以前より排水が良くなるはずが、河床に草が生い



草が生い茂っている鯉沼川

茂っている。地域から要望があると思うが。

町長 河川についての要望は多くの地域からあり、鯉沼川についても強い要望があるが、以前より悪くなっているとは論外である。

建設部長 軽舞川との合流地点の土砂止めの高さが高いため、そのような状況になったと考える。室蘭開発建設部胆振東部事業所に下げてもらうようをお願いした。

問 知決辺川の改修についてはどうか。

建設部長 雨が降るたび

心配な河川である。水田の基盤整備により、用水としての機能もなくなり、天井川を少しでも下げたい。また、防風林の所の用地を提供したいのという話もあるが、予算その他、クリアしなくてはならないことがある。

Q 長沼川のしゅんせつで未実施部分の見通しは

A 道の財政事情もあり未定である

長沼川の管理

問 土木現業所が管理している長沼川のしゅんせつが途中までしか行われていないのはどういふことか。

建設部長 13年に付近の農地に被害があり土現に要望し、現在牧場の事務所前まできているが、道の財政の関係があつて来年も引き続いて行われるかは定かではない。

視察・研修レポート

閉会中に行われた視察研修のレポートを紹介します

研修してきました

古川 議員

10月5日、しらおい経済センターで平成17年度胆振支庁管内町村議会議員研修会が「今後の町村運営のあり方に関するグランドデザインについて」という演題で北海道町村会常務理事南原一晴氏を講師に迎え行われた。

市町村合併の 進ちよく状況

47都道府県中、市町村合併が一番進んだとする広島県は、減少数を率で示すと73・3%減、北海道は44番目で15・1%減の減少率である。以下、合併が進まなかったのは、神奈川県、東京都、大阪府と続く。

この結果を分析すると、西日本で合併が進んだ理由として、昭和の大合併

のときに、合併が進まなかったため市町村数が多く、かつ小規模な面積の市町村が多かったこと。隣接する市町村の住民意識や歴史的生い立ち、気候・風土などが同一でまとまりやすかったこと。合併の中核となる市や町の財政力が強かったこと。合併特例債など、いわゆるアメを活用する意向が強かったこと。県の取り

組み姿勢が強かったこと。本道で合併が進まなかった理由として、本道の市町村の面積が広大で、しかもその中で人口が散在していること。合併後の庁舎の位置などで人口移動が生じ、区域内で過疎化が進むのではないかと懸念があったこと。隣接する市町村間に距離があり、住民意識や気候・風土、町の生い立ちな

どに違いがあり、一体感がなくまとまりにくかったこと。合併の中核となる市が偏在し、かつその多くは財政力が弱いこと。町村の財政力が弱く、町村同士の合併が難しかったこと。産業構造が異なる市町村間では、それぞれの産業の衰退を懸念したこと。合併特例債の活用に慎重な地域が多かったことなどである。

定により必要な情報提供をするなど、市町村が合併問題により積極的に取り組んでほしいということである。合併についての最終的な判断、合併するかしないかという選択は、あくまで市町村が自主的に行うものである。つまり、「道としての役割を積極的に果たす」ということは、「道が合併を強制する」ということではないという趣旨だと、道と町村会の合意とし、再確認されている。

また、原則として国が示した指針を踏まえて道の構想を策定するとしているが、「原則として」とは、必ずしも国の指針どおりではなく、北海道の特性などを勘案して、道としての独自の考え方に基づいて策定することもあり得るとの趣旨である。自主性、独自性を重んじ、合併、さらに町の行く末は、地域住民が決めるということである。

道の合併基本構想

では、北海道としての合併基本構想はというと、基本姿勢として、道内市町村において合併協議が円滑に進められるよう、道として役割を積極的に果たしていくとし、あくまで道としては、構想策



10月5日開催された管内町村議会議員研修会

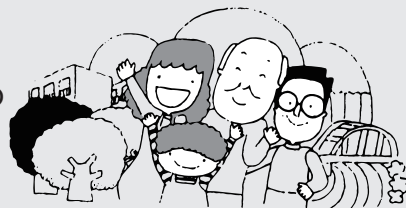
みんなの町政です 議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は12月中旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは

☎ 27 - 2321 (内線 452) 議会事務局までお気軽にどうぞ



町民のこえ を募集

厚真町議会では、議
会を傍聴した感想や
「あつま議会だより」
を読んだの感想、厚真
町議会へのご意見を募
集します。

投書について

投書される方は、用
紙に300字程度にまと
め、自分の名前と電話
番号も書いてください。
「あつま議会だより」
への掲載は、匿名を原
則とします。
投書されたご意見・
ご要望については、
「議会だより」にて、
その処理の結果につい
てお知らせいたします。
なお、名前等の記入
がない投書については、
取り扱わないこともあ
りますので、ご注意願
います。

議会のうごき

- 7 月
20日・平成17年第3回臨時議会
28～29日・北海道町村議会議長会中央実行運動
(東京都)
- 8 月
5日・総務文教常任委員会
10日・埼玉県戸田市議会視察来町
18日・本別町議会視察来町
23日・全道町村議会広報研修会 (札幌市)
25～26日・全国町村議会広報研修会 (東京都)
- 9 月
7日・議会運営委員会
14～15日・平成17年第3回定例議会
14日・議会運営委員会
15日・自立のまちづくり調査特別委員会
・議会広報特別委員会
27日・議会広報特別委員会
- 10 月
4日・共和町議会視察来町
5日・胆振管内町村議会議員研修会(白老町)
12日・総務文教常任委員会
18日・産業建設常任委員会
20日・議会広報特別委員会
28日・地方分権推進連盟の設立及び三位一体
改革推進総決起大会 (札幌市)

第3回 臨時会

7月20日開会

- 厚南中学校講堂大規模
改造工事(建築工事)請
負契約を締結
- ・契約方法 指名競争入
札
- ・契約金額
6,457万5,000円
- ・契約の相手方
矢部・山崎経常建設共同
企業体
(起立全員で可決)

あ
と
が
き



不景気になるやギャン
ブル、色彩、形などが過
激になると聞いたことが
ある。今回の総選挙は、
日本の大部分がまだ、景
気の回復を実感していな
い結果の現れと思う。過
激な言葉がとびかき、結
果も強烈なものとなった。
外面はこのようだが、し
かし、国政選挙は、いつ
も地方対中央、田舎対都
市、農業対商工業という
対抗軸は何も変わっては

いない。
地方議会は定数削減が
世論の流れになつてきて
いるが、多種多様な意見
を持ち寄ることを考える
と議員定数の削減はよい
わけではない。
時代の流れの中でその
時々世論は大きく振れ
る。広報紙も時代に流さ
れず、過激に変わること
はできないが、少しずつ、
確実に振り返りながらも
親しみ読まれるように編
集心がけたい。

広報委員

海沼 裕作